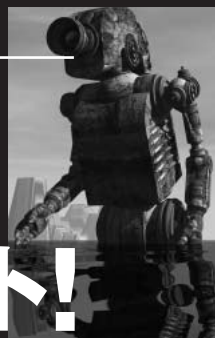


第3回 NTTのIP接続サービスは「買い」か？

▶もう迷わない!

プロバイダー選び ここがチェックポイント!



現在、本誌には900社を超えるプロバイダーの情報が掲載されています。この中から自分の条件にあったプロバイダーを探すのは容易なことではありません。このページでは、プロバイダー選びのポイントをわかりやすく説明していきます。第3回となる今月は、5月から料金の値下げと地域の拡大が予定されている、NTTの「IP接続サービス」についての解説です。

▶IP接続サービスは「24時間テレホーダイ」

NTT東日本とNTT西日本は2月18日、ISDNの加入者を対象とした常時接続の試験サービス「IP接続サービス」(仮称)の料金値下げと提供地域の拡大を発表しました(①)。常時接続といっても、IP接続サービスを使うのに特別な機器は必要ありません。これまでのTAやダイヤルアップルーターがそのまま使えます。設定の変更もほとんどありません。IP接続サービスに申し込むと、接続用の専用の電話番号がNTTから通知されるので、いままでのダイヤルアップ先の電話番号を、この通知された番号に変更するだけです(プロバイダーによってはダイヤルアップ用のユーザー名も変更が必要)。IP接続サービスは、この「指定された電話番号」への接続が月額4,500円の固定料金になるサービスです。つまり「24時間テレホーダイ」と考えるとわかりやすいでしょう。ただし、接続は現在のところ64Kbpsのみで、128Kbps

には対応していません。また、どのプロバイダーでも使えるわけではなく、プロバイダーの側もIP接続サービスに対応していなければ利用することはできません。

通常のダイヤルアップ接続では、利用者はプロバイダーのアクセスポイントに電話をかけます。プロバイダーのアクセスポイントにはアクセスサーバーと呼ばれる装置があり、ここでユーザーからの電話を受け付けます。IP接続サービスの場合は、このアクセスサーバーの部分をNTTが代行する形になっているのが、通常のサービスとの大きな違いです(②)。NTTからプ

ロバイダーへは、NTTが構築する「地域IP網」と呼ばれるネットワークを経由して接続されるため、プロバイダー側ではアクセスポイントを設置しなくて済むというメリットがあります。

また、IP接続サービスはダイヤルアップ先は常に同じ電話番号なので、ユーザー名とパスワードを変更すれば複数のプロバイダーと契約することも可能です(同時接続は不可)。IP接続サービスの申し込み方法については、以下のページを参照してください。

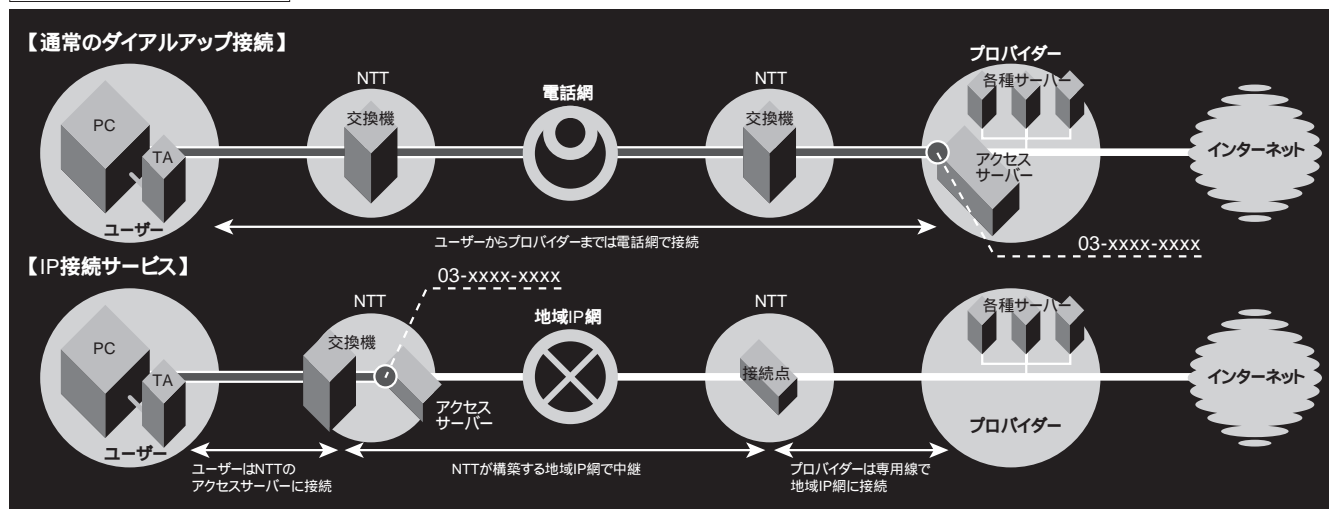
www.ntt-east.co.jp/teigaku/

www.ntt-west.co.jp/ipnet/ip/

①IP接続サービスの提供内容

	現在	5月以降
初期費用	2,000円	2,000円
月額料金	8,000円	4,500円
提供地域	東京(新宿区、大田区、渋谷区) 大阪(中央区、北区、吹田市)	東京(23区内全域) 大阪(市部全域)

②IP接続サービスの仕組み



▶ プロバイダーではIJ4Uが最安値

現在、IP接続サービスには23社のプロバイダーが対応しています(③)。料金面で見ると、23社の中ではIJ4Uが月額800円と群を抜く安さとなっています。ただし、IP接続サービスは試験サービスなので、プロバイダーの料金も現時点では暫定的なものです。また、5月の地域拡大と値下げに合わせて、料金を改定するプロバイダーも出てくると予想されます。

全体的な傾向として、IP接続サービスは24時間つなぎ放題のサービスにもかかわらず、通常のダイヤルアップ接続の料金よりも安く設定しているプロバイダーが多くなっています。定額インターネットサービスを求めるユーザーのニーズと、アクセスポイントの設備を自社で持たずにすむといったIP接続サービスのコスト面でのメリットが反映されていると考えられます。プロバイダーの料金という点からも、IP接続サービスはおすすめの商品であると言えます。

③ 各プロバイダーのIP接続サービス対応料金表(個人向けサービス・代表的な料金コースのみ)

地域	プロバイダー名	初期費用	基本料金	従量課金
東西	@nifty	1,000円	月額3,000円/固定	-
東西	AIRインターネット	5,000円	月額3,000円/固定	-
東西	ASAHIネット	2,000円	月額1,700円/固定	-
東西	AT&T WorldNet Service	2,000円	月額2,000円/固定	-
東西	BIGLOBE	なし	月額3,000円/固定	-
東西	DION	なし	月額3,000円/固定	-
東西	DreamNet		現在検討中	
東西	Highway Internet	3,000円	月額3,000円/固定	-
東西	IJ4U	なし	月額800円/固定	-
東西	InfoSphere	なし	月額5,000円/固定	-
東西	interQ	3,000円	月額1,850円/150時間/従量(上限4,800円)	3円/分
東	JustNet	なし	月額1,950円/固定	-
東西	NEWEB	500円	月額2,500円/固定	-
東西	OCN	なし	月額2,000円/150時間/従量(上限4,900円)	3円/分
西	ODN	なし	月額2,500円/固定	-
西	Panasonic Hi-HO	なし	月額3,000円/150時間/従量	7円/分
東西	SANNET	1,980円	月額1,980円/固定	-
東西	So-net	2,000円	月額5,000円/固定	-
西	STAR-Internet	1,000円	月額3,000円/固定	-
東西	VC-net	3,000円	月額2,500円/固定	-
東	インターネットWIN	2,000円	月額5,000円/固定	-
東	東京電話インターネット	なし	月額1,750円/固定	-
東西	ぶらら	なし	月額1,800円/固定	-

ダイヤルアップ接続と併用した場合には、別途従量課金が必要となる

▶ ISDNならば「買い」、アナログからの移行は他のサービスを検討してから

IP接続サービスをISDNの他の割引サービスと比較してみよう(④)。各割引サービスを利用した場合に何時間以上使うと4,500円を超えるかを計算してみると、もっとも割引率の高いi・アイプラン3000でも、45時間以上接続するとIP接続サービスの方が安くなります。テレホーダイの場合でも、昼間に10.5時間以上接続すると月額4,500円を超えます。他の割引サービスと違い、IP接続サービスには時間制限などの制約がなく、24時間いつでも使えるといった大きなメリットがあります。時間を気にせず、いつでもインターネットを使いたい人にとっては、IP接続サービスは「買い」だと言えるでしょう。

次に、CATVやADSLといった他の常時接続サービスと比較してみると、IP接続サービス速度が64Kbpsという点がデメリットになります(⑤)。ただし、CATVはマンションなどの集合住宅では使えない場合が多く、ADSLはまだほとんどの地域ではサービスが始まっていません。逆に、IP接続サービスはエリア内であればどこでも利用できます。

すでにISDNを使っているのであれば、導入

費用は2,000円と安価です。CATVやADSLのエリア拡大を待つよりも、とりあえずIP接続サービスに申し込んでみるのも悪くない選択肢です。一方、現在使っているのがアナログ回線の場合には、TAやダイヤルアップルーターの費用を考えると、他の常時接続サービスを検討してみるべきでしょう。同じ電話線を使ったサービ

スでも、ADSLならば速度はISDNの数倍です。現状ではあえてISDNに加入する必要性はあまりないといわれています。

もちろん、CATVやADSLといった選択肢がない人も多いでしょう。こうした場合には、時間に制約のある電話割引サービスよりは、IP接続サービスに入ることをおすすめします。

④ 他の割引サービスとの比較

割引サービス	月額料金 (基本料を除く)	4,500円になるのは..	割引内容
INSタイムプラス	350円	34時間35分	通話料が5分10円(深夜7分10円)
i・アイプラン1200	1,200円	31時間30分	通話料3,000円(15時間分)までは固定料金
i・アイプラン3000 (割引サービスを使わない)	3,000円 0円	45時間 22時間30分	通話料7,500円(37.5時間分)までは固定料金 -
INSテレホーダイ	2,400円	10時間30分	深夜(23~8時)は固定料金
INSテレホーダイ+INSタイムプラス	2,750円	14時間35分	-

⑤ 他の常時接続サービスとの比較

	導入費用	月額料金	通信速度
IP接続サービス(IJ4U)	2,000円	5,300円	64Kbps
CATV(ALLNET)	22,000円	6,000円	512Kbps
ADSL(NTT-ME)	29,800円	6,980円	512Kbps



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp